



木住野の智行

無形民俗文化財の映像記録について問う

質 平成22年から実施している映像記録の種類や量について。

教育長 町内に所在する無形民俗文化財を総合的に保存し、次世代に映像記録として活用するとともに地域活性化を図ることを目的とする。

課長 お祭りなどが16種類、行事や風俗等が12種類で合計28種類延べ撮影時間600時間を超えるものが記録されている。

質 記録した映像の今後の活用について。

課長 映像記録の編集及びDVD化については、国や都の補助金の動向を鑑み、今後経過を見ていきたい。

策について問う



平井川 鹿の湯橋上流の増水

質 本宿小南側から亜細亜大学グラウンドまでの雨水対策処理について。

課長 本宿小学校南側の油田地区内の道路側溝に浸透枳4基、貯留水槽枳1基を設置、本宿学童クラブと本宿小学校の間の補助道第8号線内に浸透枳が6基グリーンタウンと亜細亜大学の間の三吉野井

戸端5号線に浸透枳1基が設置されており、年度内に全ての清掃を行う予定である。

質 鹿の湯橋上流側冠水箇所

の下水道のポンプ施設に雨水が流入している疑いについて

課長 今後、ストックマネジメント計画策定を予定しており、布設年度や緊急対応等を総合的に勘案しながら、下水道施設の調査や工事計画を検討する。

※ リスクを考慮した目標設定に対し、「点検・調査・計画」と「改革・修繕計画」策定を行うこと。



嘉倉

治



質 幼児教育無償化で受けた恩恵を他のサービ

スに切り替える選択肢、例えば給食費の無料化、学童クラブの増設、子ども広場、ネウボラ設置等の取り組みは。

課長 取り組みなくてはならない課題を慎重に見極め、優先順位を付けて取り組む。

子育て世代包括支援センターの開設を問う

課長 今年度半年分で2900万円の保護者負担軽減が見込まれ、町は約1600万円の軽減となる。

質 次世代育成クーポンの現状と課題を問う。

町長 子育て支援策を持続可能な制度として維持していくため、公平性、給付要件の適正化など、検証、検討していく。

質 幼児教育の無償化による保護者への軽減と町への影響は。

課長 現時点では検討していないが、福祉単独事業の検証会議において、支給要件の見直しを検討している。

質 次世代育成クーポンの使途、額面の変更はあり得るか。

町長 機は熟したと考える。建設的に前向きに進めていきたい。